



シンフォニア通信 第168号

2026年4月

東京都日野市東平山 3-1-19
社会福祉法人 大家族
特別養護老人ホーム シンフォニア

～ごあいさつ～

春暖の候、施設周辺では桜が満開に咲き誇り、穏やかな春の訪れを感じる季節となりました。ご利用者の皆様におかれましても、窓越しに春の景色を楽しまれる様子など、生活の中にも季節の移ろいを感じておられるようです。

一方で、この時期は寒暖差が大きく、体調を崩しやすい季節でもあります。施設では引き続き、室温・湿度の管理や衣類調整、水分補給などを通じて、ご利用者一人ひとりの状態に応じたきめ細やかな対応を行っております。ご家族の皆様におかれましても、面会時にお気づきの点がございましたら、遠慮なくお知らせいただければ幸いです。

さて、施設では先月は4日と30日に、自然災害や感染症の拡大などにより事業の継続が危ぶまれる事象が発生したことを想定し、これを乗り越えるための訓練(BCP訓練)を行いました。今回の訓練では、嘔吐症状を起点とした感染拡大防止策として、初動対応からゾーニング、情報共有に至るまでの実践的な訓練と、夜間に施設内で火災が発生したことを想定した、少人数の職員による通報・消火・避難誘導を実施いたしました。

これらの訓練は単なる形式的なものではなく、「実際に起きた場合に機能するか」を検証する重要な機会と捉えております。今後も繰り返し訓練を重ねることで、非常時においてもご利用者の安全を確実に守れるよう体制の強化に努めたいと思っております。

また、先日はひよこハウスの園児たちが卒園の報告に訪れ、心温まる交流のひとつを持つことができました。世代を超えた関わりは、ご利用者にとって大きな刺激となり、日々の生活に彩りを与える大切な機会であると改めて感じております。

令和8年度がスタートいたしました。新たな年度にあたり、これまでの取り組みを基盤としながら、安全で安心できる生活環境の維持と、より質の高いケアの提供に努めてまいります。終の棲家として信頼される施設であり続けられるよう、職員一同、引き続き努力してまいります。

ご家族の皆様には、本年度も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム シンフォニア
施設長 檜村正男